

西南女学院大学の三つの方針について

本学では、建学の精神である「感恩奉仕」を基本とし、教育上の目的を踏まえた「卒業の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」及び「入学者の受入れに関する方針」の三つの方針を策定し、公表しています。

これは、育成すべき人材像を明確化した上で、それを実現するための適切な教育課程を編成し、体系的・組織的な教育活動を行うとともに、本学の教育を受けるにふさわしい学生を受け入れるための入学者選抜を実施することにより、その使命をよりよく果たすためです。

大学

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー：DP）

本学の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に学士の学位を授与します。

DP 1 【知識・理解】

- 1-1) 豊かな人間性と社会性を捉える総合的視点と知識を身につけている。
- 1-2) 専攻する学問分野における基礎的知識を修得している。

DP 2 【技能】

- 2-1) 多様な人々と相互理解を図ることができる。
- 2-2) 論理的に思考し、判断することができる。
- 2-3) 専攻する学問分野における技術を身につけ、社会で活用できる。

DP 3 【態度・意欲】

- 3-1) 自己研鑽し、社会に貢献しようとする姿勢がある。
- 3-2) 地域社会における課題を発見し、他者との協働により課題解決を図る意欲がある。

DP 4 【統合的活用力】

- 4-1) 専攻する学問分野において獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー：CP）

卒業の認定に関する方針の達成のため、地域すべてをキャンパス（「地域総キャンパス」）と捉え、大学の活動をキャンパス内に留めず、国内外の地域で展開します。

1. 総合人間科学では、専攻する学問分野の違いを超えて学修する上での根本となる総合的視点と豊かな人間性を養うための科目、大学で学ぶための基礎力を育成する科目、「地域総キャンパス」の基盤となる科目を配置する。
2. 専攻する学問分野においては、初年次から学年進行に合わせて段階的に、知識・技術および論理的思考が修得できるよう専門教育科目を体系的に配置する。

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー：AP）

本学は、以下のような学生の入学を期待しています。

1. 人と社会に関心をもち、その発展に貢献する意欲のある人。
【関心・意欲】
2. 基礎学力を備え、目的に向かって努力する人。
【知識・理解】【態度】
3. 協調性や他の人々を思いやる心をもつ人。
【技能・表現】

保健福祉学部

看護学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー：DP）

看護学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に学士（看護学）の学位を授与します。

DP 1 【知識・理解】

- 1-1) 看護の対象である人間の理解と、社会をグローバルに捉える視点を修得している。
- 1-2) 看護実践に必要な基本的な知識を修得している。

DP 2 【技能】

- 2-1) 看護の対象と円滑なコミュニケーションをとり、良好な関係を築くことができる。
- 2-2) 健康上の課題を解決するために論理的に思考・判断できる。
- 2-3) 地域や社会において看護の対象に根拠に基づいた看護を実践できる。

DP 3 【態度・意欲】

- 3-1) 看護の専門性を活かし、健康支援に関わる多職種と協働・連携できる。
- 3-2) 看護実践者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。
- 3-3) 自ら学び続け、社会に貢献しようとする姿勢を有する。

DP 4 【統合的活用力】

- 4-1) 健康上の課題を解決するため、これまでに修得した情報や知識を活用し、新たな課題に取り組むことができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー：CP）

看護学科は、以下のような教育課程を編成し実施します。

1. 看護学科の教育課程は、看護実践者の育成を目的として、総合人間科学と専門教育科目「看護を学ぶための基礎」「看護実践の基盤」「看護実践の応用」「看護実践の発展」で構成する。
2. 「看護を学ぶための基礎」「看護実践の基盤」では、看護の対象である人間を理解し、看護を実践するための基本的知識・技術の修得および態度を育成するとともに、看護に関わる倫理観を養う。
3. 「看護実践の応用」では、あらゆるライフステージ・健康状態にある個人・家族・集団・地域社会を対象に看護を実践できる能力を育成する。また、人々の健康支援を多職種と協働・連携し、健康の側面から柔軟に対応できる能力を養う。
4. 「看護実践の発展」では、看護キャリアの形成に向けて、専門的な看護を自ら学び続ける姿勢を身につけ、社会の変化に対応する能力を養い、生涯を通して社会貢献する態度を育成する。
5. 看護師教育課程の卒業要件に加えて、保健師国家試験受験資格、教育職員免許状取得に関する科目を組み込んでいる。これらの関連科目を履修し、所定の単位数を修得することで、保健師国家試験受験資格、養護教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状（看護）を取得できる。

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー：AP）

看護学科は、以下のような学生の入学を期待しています。

1. 生命と健康を支えたいという意欲をもち、看護を学ぶために必要な基礎学力がある人。
【知識・理解】【関心・意欲】
2. 人に尊敬の念をもって接し、他者と協調して行動ができる人。
【態度】【技能・表現】
3. 看護の実践を通して、社会貢献をしたいと考えている人。
【関心・意欲】

福祉学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー：DP）

福祉学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に学士（福祉学）の学位を授与します。

DP1【知識・理解】

- 1-1) 人びとのいのちや生活、地域や社会を、多面的かつ包括的に捉える視点を身につけている。
- 1-2) 福祉、教育、保育の専門職として必要な基礎的知識を身につけている。

DP2【技能】

- 2-1) 個人、地域、社会に生じる事象を論理的に整理・分析し、表現できる力を身につけている。
- 2-2) 福祉、教育、保育の専門職として必要なコミュニケーションスキルを身につけている。
- 2-3) 情報の収集・分析を通じて、福祉的課題を的確に把握し、解決方法を検討できる。

DP3【態度・意欲】

- 3-1) 人びとの異なる立場や考え方を理解し、協働できる。
- 3-2) 福祉、教育、保育の専門職としての倫理に基づく判断と行動ができる。
- 3-3) 福祉、教育、保育の専門職として常に学び続ける意欲と姿勢を身につけている。

DP4【統合的活用力】

- 4-1) 修得した知識・技能・態度等を総合的かつ創造的に活用し、人びとの福祉に広く貢献できる力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー：CP）

福祉学科は、以下のような教育課程を編成し実施します。

1. 福祉学科は、福祉・養護教諭コースと子ども家庭福祉コースで編成する。
2. 各コースとも社会福祉士国家試験受験資格を基本として、福祉・養護教諭コースでは、同時に精神保健福祉士国家試験受験資格、養護教諭一種免許状のいずれか1つを取得することができる。子ども家庭福祉コースでは、同時に保育士資格が取得できる。
3. 福祉学科の教育課程は、総合人間科学と専門教育科目の「福祉基礎科目」、「福祉専門科目」、「精神保健福祉関係科目」、「福祉心理臨床関係科目」、「保健・医療関係科目」、「保育関係科目」、「専門研究科目」および「教職に関する科目」で構成する。
4. 「福祉基礎科目」では、専門的学習の準備として基礎的な対人援助のイメージを確立し、社会福祉士、精神保健福祉士、養護教諭、保育士に必要な基礎的技能と態度を獲得する。
5. 「福祉専門科目」、「精神保健福祉関係科目」、「福祉心理臨床関係科目」、「保健・医療関係科目」、「保育関係科目」および「教職に関する科目」では、社会福祉士、精神保健福祉士、養護教諭、保育士として必要な専門的知識と理論及び技能の修得を目指すとともに、専門職としての態度を育成し倫理観を養う。
6. 「専門研究科目」は、自らの課題を設定し探求する姿勢を身につけるとともに、主体的に学び続けるための基礎的能力を養う。

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー：AP）

福祉学科は、以下のような学生の入学を期待しています。

福祉・養護教諭コース

1. 人々の生について広く深く学ぶ意欲のある人。
【知識・理解】【関心・意欲】
2. 豊かな人間関係を築く努力ができる人。
【技能・表現】
3. 人々への支援を通して社会貢献をめざしている人。
【態度】

子ども家庭福祉コース

1. 人々の生について広く深く学ぶ意欲のある人。
【知識・理解】【関心・意欲】
2. 豊かな人間関係を築く努力ができる人。
【技能・表現】
3. 子どもと家庭の支援を通して社会貢献をめざしている人。
【態度】

栄養学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー：DP）

栄養学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に学士（栄養学）の学位を授与します。

DP 1 【知識・理解】

- 1-1) 社会人としての基礎的な教養を身につけている。
- 1-2) 栄養管理、栄養教育のために必要な専門的知識を修得している。

DP 2 【技能】

- 2-1) 栄養管理、栄養教育のために必要な専門的技術を修得し、実践に活かすことができる。
- 2-2) 栄養に関わる保健、医療、福祉、食、教育等の諸課題について、論理的に思考し判断することができる。

DP 3 【態度・意欲】

- 3-1) 栄養に関わる分野に関心をもち、健康増進および疾病予防・治療に貢献しようとする強い意欲を持っている。
- 3-2) 栄養の専門家として、職業倫理に基づいて判断し、行動することができる。
- 3-3) 栄養の専門性を活かして、他の専門職従事者と連携し、協働する姿勢を有している。

DP 4 【統合的活用力】

- 4-1) 栄養に関わる分野において、これまでに培った知識や技術を統合して、新たな課題解決に向けて活用することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー：CP）

栄養学科は、以下のような教育課程を編成し実施します。

1. 栄養学科の教育課程は、栄養士・管理栄養士の養成を目的として、総合人間科学と専門教育科目「専門基礎分野」「専門分野」で構成する。
2. 「専門基礎分野」では、人々の健康を支えるうえで必要不可欠な「食と栄養」を理解するための基盤として、人体の構造と機能、栄養素と人体の関連、食品の成分や食の安全性、食事摂取の技術、社会環境等に関連する基本的知識と技術を修得し、論理的に思考する能力を養成する。
3. 「専門分野」では、人々の健康の維持・増進、疾病の発症予防・重症化予防に貢献するため、健康人や傷病者に対する栄養管理や栄養教育に関する専門的知識・技術・態度を養成するとともに、栄養の専門家としての倫理観を養う。
4. 学内外での実習や演習、卒業研究・ゼミを通じて、それまでに培った栄養学の知識や技能を発展させ、新たな課題解決に積極的に取り組み、地域社会で活躍できる実践力を養う。
5. 栄養士・管理栄養士教育課程の卒業要件に加えて、教育職員免許状取得に関する科目を配置している。これらの関連科目を履修し、所定の単位数を修得することで、管理栄養士国家試験受験資格及び栄養教諭一種免許状を取得できる。

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー：AP）

栄養学科は、以下のような学生の入学を期待しています。

1. 栄養と健康の問題に強い関心をもち、人々の健康増進に貢献したいと考えている人。
【関心・意欲】
2. 人とのコミュニケーションが円滑にとれ、協調性のある人。
【技能・表現】
3. 栄養の面から多様な分野で活躍したいと考えている人。
【知識・理解】

人文学部

英語学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー：DP）

英語学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に学士（人文学）の学位を授与します。

DP 1 【知識・理解】

- 1-1) 国際的視野と地域的視野に立って行動するための豊かな教養と幅広い専門的知識を身につけている。
- 1-2) 英語に関する豊かな知識を身につけている。

DP 2 【技能】

- 2-1) 高度な英語運用能力を身につけている。
- 2-2) 現代社会の諸相や諸課題について論理的に考察し、状況に応じて適切に判断する力を身につけている。
- 2-3) デジタル環境を活かし、効果的な情報活用力を身につけている。

DP 3 【態度・意欲】

- 3-1) 専門的知識・能力を高めるため、継続的に自己を啓発し、研鑽しようとする態度を身につけている。
- 3-2) 社会の一員として、自ら積極的に責任ある役割を果たし、他者と協働しようとする態度を身につけている。

DP 4 【統合的活用力】

- 4-1) 修得した知識や技能、態度を実践で活用する力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー：CP）

英語学科は、以下のような教育課程を編成し実施します。

1. 英語学科の教育課程は、総合人間科学と専門教育科目の「専門基盤科目」と「キャリア形成科目」で構成する。「専門基盤科目」は「英語コミュニケーション」、「言語文化」、「国際理解」、「演習」で構成し、「キャリア形成科目」は「キャリア共通」、「エアライン・ホスピタリティコース」、「国際ビジネスコミュニケーションコース」、「英語教育コース」で構成する。
2. 「専門基盤科目」では、国際社会で活躍するために必要な英語運用能力を養うとともに、言語や異文化への深い理解と洞察力を育成する。また、国際的な活動を通して思考力や実践力を総合的に育成する。
3. 「キャリア形成科目」では、自身のキャリア形成に向けて様々な業界で活躍するために必要な知識や技能を身につけ、主体的に地域社会や国際社会に貢献できる力を育成する。
4. 卒業要件に加えて、教職に関する科目など所定の単位数を修得することで、高等学校教諭一種免許状（英語）、中学校教諭一種免許状（英語）の取得ができる。

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー：AP）

英語学科は、以下のような学生の入学を期待しています。

1. 英語力の向上に強い関心をもち、自主的に学習する姿勢を身につけている人。
【知識・理解】
2. 英語力を活用して他国の人々と積極的に関わり、異文化理解を深め、自国の文化を発信する意欲のある人。
【関心・意欲】【技能・表現】
3. 世界の出来事に関心があり、かつ地域社会の活性化にも貢献する意欲のある人。
【関心・意欲】【態度】

観光文化学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー：DP）

観光文化学科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に学士（人文学）の学位を授与します。

DP1【知識・理解】

- 1-1) グローバル化と情報化が進む現代社会に対応するための基礎知識を修得し、学際的な視点を身につけている。
- 1-2) ツーリズム、地域社会、異文化理解に関する専門知識を修得している。

DP2【技能】

- 2-1) キャリア形成に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
- 2-2) ツーリズムや地域活性化に関する専門技能を修得している。

DP3【態度・意欲】

- 3-1) 主体的に学び続け、地域や国内外の課題解決に貢献しようとする意欲を持っている。
- 3-2) ホスピタリティ精神を持ち、他者と協働する姿勢を身につけている。

DP4【統合的活用力】

- 4-1) 現代社会の多様な課題に対し、修得した知識・技能・態度を総合的に活用し、自ら課題を設定し解決する能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー：CP）

観光文化学科は、以下のような教育課程を編成し実施します。

1. 観光文化学科の教育課程は、総合人間科学と専門教育科目の「観光・地域活性化に関する科目」、「マーケティング・経営・経済に関する科目」、「異文化交流に関する科目」、「キャリア教育科目」、「統合科目」、「留学生科目」から構成する。
2. 「観光・地域活性化に関する科目」は、基幹科目と展開科目から構成され、ホスピタリティの精神をもとにツーリズムや地域に関わる専門的知識の修得や課題解決能力を養うための科目を配置する。
3. 「マーケティング・経営・経済に関する科目」は、基幹科目と展開科目から構成され、ビジネス社会で求められる知識や課題解決能力を養うための科目を配置する。
4. 「異文化交流に関する科目」は、文化に関する科目とコミュニケーションに関する科目から構成され、前者については異文化や国際社会を理解するための教養科目を配置し、後者については、英語・中国語・韓国語のコミュニケーション能力を高める科目を配置する。
5. 「キャリア教育科目」は、社会との関わり方についてさまざまな視点から学び、卒業後の進路を決定する際の指針となる科目を配置する。
6. 「統合科目」は、観光・地域・ビジネス・異文化や国際社会などを対象とした課題解決能力を少数形式にて実践的に養うため、2年次から段階的に科目を配置する。
7. 「留学生科目」は、留学生を対象に、本学科の専門教育科目の理解を深めることを目的に日本語科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー：AP）

観光文化学科は、以下のような学生の入学を期待しています。

1. ツーリズムまたは地域活性化の分野で活躍したい人。
【関心・意欲】【態度】
2. 基礎学力とコミュニケーション力があり、向上心・向学心がある人。
【知識・理解】【技能・表現】
3. 地域や社会に関心を持ち、貢献しようという意欲がある人。
【関心・意欲】